

手外科班

手外科班は、手から肘における外傷（骨折や靱帯損傷など）、外傷後の変形・拘縮・偽関節などの機能障害から手根管症候群や肘部管症候群などの絞扼性神経障害、腫瘍、スポーツ障害など、上肢（手から肘関節）のあらゆる疾患や機能再建を対象とした治療を行っております。

橈骨遠位端骨折

骨粗鬆症を基盤とした橈骨遠位端骨折に対し、掌側ロックングプレートやときに追加手技を用いて安定した整復固定を行い、可能な限り早期運動療法を行っております。



小児の骨折

小児の上腕骨顆上骨折や橈骨遠位骨端線損傷などに対し、可能な限り受傷早期に骨折経皮的鋼線刺入固定術を行っております。



上腕骨顆上骨折に対する骨折経皮的鋼線刺入固定術



橈骨遠位骨端線損傷に対する骨折経皮的鋼線刺入固定術

関節リウマチ

関節リウマチによる伸筋腱断裂の再建や、遠位橈尺関節の変形・疼痛に対し、手関節の安定性を温存させるために、Sauve-kapandji法という手関節形成術を中心に行っております。



その他、靱帯損傷や絞扼性神経障害（手根管症候群・肘部管症候群）、ガングリオンなどの腫瘍など、多岐にわたる疾患の治療を行っております。

手外科担当医は、火曜・金曜の午前、水曜の午後に診療を行っております。学会などで休診となることがありますので、あらかじめ電話で確認をいただければと思います。